

授業改善等に関する報告書（2019年後期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2019（後期）生活文化学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
教育実習指導（小学校）	南雲 成二, 渡辺 敏	<p>☆この授業では、教育実習で学んだことをさらに深めることを狙っていました。研究授業は、学生の皆さん、それぞれが自分なりに課題を挙げて取り組む姿が見られ成長を感じました。ぜひ、現場に出たら自ら研究授業に取り組んで指導技術を向上させてほしいです。（渡辺先生からのメッセージ）</p> <p>☆「教育実習指導（前期）」は、教育実習の4週間をより実り多い体験学習にするためにどうしても必要な事柄を15回の「講義＋演習」として構成したものです。新学習指導要領の完全実習前年であることを強く意識し、各教科の学習指導を展開できる力、授業評価・学習評価をより適切に進めながら、次の授業デザインと学習支援を構想し準備する力の育成を目指しました。一人ひとりの学び手の学習実態や生活課題をより確かに、より豊かにとらえ、個を見つめ、個に応じ・個を活かす教師力（人間力）を向上させる為の内容構成です。第7期生9名、代理不可性を大切によく取り組みました。いよいよ4年生、これからこそ、この「教育実習指導」で学んだことを発展させてほしいです。4年生後期『教職実践演習』でさらなるパワーアップを期待します。（南雲先生より）</p>
算数	渡辺 敏	<p>小学校の時に学んだ算数を、小学校教員が指導するという面から考えることができたのではないかと思います。今回、教材について学んだことを来年度の指導法に活かしてください。</p>
教職実践演習（幼・小）	田中 正浩, 南雲 成二	<p>2019年度の「教職実践演習」履修生幼小コース7名は、みなよく努力をしてくれました。7人7様の取り組みと成果、実に立派です。苦労して制作した「小1学年・学級経営案」～「小6学年・学級経営案」4月からの初等教育実践の大きな力になると思います。さあ、スタートです。「教育は実践あるのみ!!!」（恩師の言葉を贈ります）</p> <p>田中先生と南雲先生からの贈り物です。「はっけん・たんけん・ほっとけん力」「元気・根気・勇氣」をおおいに発揮し、小学校における『学びの創出・発展』を学び手とともに楽しんでください。「わかる・できる・つかえる、やりたくなる・もっとやりたくなる、『るの学力形成・伸長』をめざしてトライ！し続けてください。応援します。</p>
家族と生涯発達総論	細江 容子	<p>声や言葉等の聞き取りやすさや説明スピード等に関して、学生の講義内容の理解が深まるように改善していきたい。</p>
男女共同参画社会と生活	細江 容子	<p>声や言葉等の聞き取りやすさや説明スピード等に関して、学生の講義内容の理解が深まるように改善していきたい。</p>
生活経済論	高橋 桂子	<p>皆さん、しっかりと学んだくれて感謝しています。実は、経済は、男子学生も不得意で人気のない学問なのです。でも、「好き・嫌い」で対処できないのが経済・金融の世界。「嫌い」であっても「知っている」ということは大事です。頑張りましょう。</p> <p>その他、「ミニテストが簡単すぎた」というコメントもありました。来年度に向けて少しレベルアップします。お疲れさまでした。</p>
心理学研究法2	中山 友則, 作田 由衣子	<p>この授業は計算などの課題も多かったので、負担に感じた人もいるかもしれませんが。掲示板でもお伝えしましたが、最終課題があまり良くできなかった方も多いかと思いますので、これまでの配布資料や参考文献などを参照して必ず復習するようにしてください。</p>
家庭経営論2	高橋 桂子	<p>お疲れ様でした。この授業はたくさんDVDを見て、考えたこと、気づいたことをレポートし、さらに講義中に映像課題が2本別途ある、課題にはすべてフィードバックする、といった形で進めた講義でした。生きるって大変なことなのです。現在、活躍している人にも必ず苦難の時期がありましたね。その時期をどう過ごすか、鍛えるかがポイントのようでした。レポートは回数を重ねるにつれ、整然と書けるようになり多に成長したと思います。柔軟に、目指す方向を見つけていきましょう。高橋</p>
保育・教育指導の基礎	松田 純子, 井口 眞美, 渡辺 敏, 大澤 朋子	<p>ここでは、3年次以降に行われる実習に向け、身に付けておきたい基礎知識の習得を主な目的として授業を行ってきました。保育所、幼稚園、小学校、児童福祉施設の見学を通して、諸施設の現状も理解できたことと思います。引き続き、来年度も「保育・教育指導の実際」において、実践的な知識や技能を修得し、保育・教育への理解を深めてください。</p>

[2019（後期）生活文化学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
保育・教育指導の実際	井口 眞美, 南雲 成二, 大澤 朋子, 山下 晶子	ここでは、3年次の実習に向け、保育所、幼稚園、小学校、児童福祉施設の実際についての理解を深めることを目的として授業を行ってきました。双方向的な授業展開が十分にできなかったことについては、今後の課題として改善を図りたいと思います。 来年度も「幼児教育法」等の授業を通して、保育者としての実践力を高めてください。 井口先生のコメント、南雲も同感です。 主に担当・担任させていただいた幼小コース11名のみなさんの「学び」（正味10回）、常に真摯に主体的に初等教育の具体と実践を見つめ見守り、子ども達と先生方や保護者の方々に思いをはせてくれて、とても嬉しかったです。皆、素敵な小学校の先生になれるな…とも感じました。小学校教員勤務34年間の南雲としては、日野市立第七小学校の校長先生や副校長先生が、あなた方11人の学校訪問、授業参観研究の態度を高く評価して下さったお気持ちがとても誇らしいです。また、校長先生宛、学校の先生方宛での「お手紙」も、流石大学生という内容でした。書字も丁寧で読みやすく、感動しました。この実践力、行動力、ぜひ3年生の「学びと具体」に活かして欲しいです。
保育原理2	松田 純子	「保育原理2」は「保育原理1」に比べて、子どもの姿が具体的にイメージできる内容だったこともあって、受講生のみなさんの総合的な満足度やもっとこの科目の内容を学んでみたいという意欲も高い結果となりました。最後の試験の結果にも、それが反映されていたように思います。但し、記述問題では、専門用語を正確に覚えることはもちろんですが、理解したことを自分の言葉で説明することが求められます。理解があいまいな部分をそのままにせず、保育を専門に学ぶ者として十分な説明ができた、自身の考えを述べるができるように、意識して学んで行って下さい。 スライドの文字量や提示の仕方は、私自身の課題です。みなさんの声を聴きながら、工夫・改善していきたいと思っています。
初等教科教育法（音楽）	越山 沙千子	半期お疲れさまでした。後半の指導案と模擬授業の部分がとても大変だったと思います。指導案の書き方や授業の流れでは、現場の声も届けながら、できる限り丁寧に話し合ったり、確認してきたつもりです。満足度で一人「まったくあてはまらない」になっていたのがとても残念ですが、それ以前の質問の答えとかみ合わないのが気になります。私自身も皆さんから教わったことがたくさんありましたので、指導案や模擬授業までの授業内容をより中身の濃いものにできるよう、努力したいと思います。ありがとうございます。
保育方法論	田中 正浩	全体として平均的な評価を得てはいるが、受講者の満足度をさらに上げられるように改善に努めたい。まずは、これまで以上に双方向的な授業にし、板書や配付資料においても受講生の目線で工夫をしていきたい。適度な課題によって本教科への意識を高め、受講生の理解の質を上げて生きたい。
ゼミナール	島崎 あかね	前期は輪読、後期は卒業論文に向けて、各自の興味関心ある分野・領域についての論文を探して纏めることを中心に行いましたが、もう少し統計処理に関する勉強を行っておくべきだったと反省しています。来年の卒業論文の作成までに、より多くの論文を読み自分のテーマを構築していけるよう、引き続き頑張ります。
ゼミナール	塚原 拓馬	回答者なしのためコメント割愛
ゼミナール	南雲 成二	実践女子大学後援会「会報104号～February2020～」56頁の「南雲ゼミ紹介」にあるとおり、『偶然の出会いを必然に！』を育み、紡ぎ合っていく実践知、実行力をゼミ学習を通して切磋琢磨してくれたこと、本当に嬉しく思います。この経験を大切にさらなる前進を願っています。
ゼミナール	渡辺 敏	授業の中で、自分の考えをまとめて書くことに重点を置いて指導してきました。ここで学んだ、教育心理の知見、また、書く力を生かして来年度の卒業論文をがんばってほしいです。
生活心理フィールドワーク1	水野 いずみ, 作田 由衣子, 塩川 宏郷, 板倉 達哉	心理が関係する現場を直接体験することが目的の一つであり、多くの学生が達成できたと思います。プレゼンテーション技術は今後の研鑽をつむことによって向上が期待できます。
フィールドワーク2	水野 いずみ, 作田 由衣子, 井上 宏子, 塩川 宏郷	施設の訪問・報告書作成・プレゼンテーションというフィールドワーク研究の一連の作業を体験しましたが、2年目ということもあってか中途半端な取り組みの学生が目立ちました。訪問先からは服装や態度についての指摘があり、今後徹底していきたくと思います。
家族と生涯発達各論a （乳幼児・児童期）	長崎 勤	家族と発達の問題についてのトピックスを入れたためにシラバス通りに進まなかった面がありますが、現代の様々な家族と発達の問題、特に家族におけるコミュニケーションの発達に関心を持ってもらえればと思います。

[2019（後期）生活文化学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
健康科学論 b (疫学から見る健康)	佐野 堯	「声や言葉が聞き取りづらかった」という問題点の指摘がありました。講義で早口で話したために予定の1.5倍のスピードで途中まで経過したような回もありましたので、今後はゆっくりめのスピードを心がけたいと思います。ご指摘、ありがとうございます。
知覚・認知心理学 a	作田 由衣子	responを使うことで質問がしやすく、気軽に疑問に思ったことなどを聞いてくれたのはよかったです。今後は、他の授業で学んだことや文献で読んだことなども土台にして、深い質問ができるようになると思います。
生活文化史 2	細江 容子	全体として良い評価を得てはいるが、声や言葉等の聞き取りやすさやPPTの作成に関して、学生の講義内容の理解が深まるように改善していきたい。
言語心理学	長崎 勤	言語心理学についてのトピックスを入れたためにシラバス通りに進まなかった面がありますが、言語の諸側面や言語の支援に関心を持ってもらえればと思います。
生活の科学	楨 究, 橋 弘志, 水野 いずみ, 大川 知子, 白尾 美佳	わかりやすい授業について追及していきたいと思います。
音楽	越山 沙千子	半期お疲れさまでした。1限で大変だったと思います。積極的に授業に参加してくださって、私自身も皆さんから刺激を受け、勉強になることがたくさんありました。アンケートにも、音楽と言っても、ピアノや歌だけではなく生活の音がある点を書いてくださった方がいて、とてもうれしく思いました。また、弾き歌いについても、技術が向上したと実感してくださっている方がいることが分かり、安心しました。皆さんの個性が表現にじみ出ている、それらはどれも素敵だと私は思っています。これからも継続して磨き、努力することこそが大切です。今後もそのサポートをさせていただけたらと思っていますので、困ったらいつでも来てください。ありがとうございました。
保育実習指導 2	松田 純子, 大澤 朋子	本授業では、4年次保育実習2の事前事後指導を行いました。保育実習2a（保育園）と保育実習2b（児童福祉施設）に分かれ、各実習ごとの指導の時間を多く取りました。実習時期の違いもあり、後期は各自で進めていくことも多く、また就活や卒論と同時進行で大変なこともあったと思います。実習を含めた4年間の経験と学びを活かし、それぞれの進路で頑張ってください。
音楽	越山 沙千子	半期、ありがとうございました。15回にしては盛りだくさんの内容で、もっと深めたいこともありましたし、思うように授業が進まず試行錯誤の連続でした。アンケートでもシラバス通りに進んでいないと感じた方がいらっしゃいましたが、皆さんの様子を見ながら変更させていただいたところもありました。ご理解いただければと思います。発表や課題ではしっかりまとめることができていると思います。ピアノの弾き歌いは、経験関係なく丁寧に組み続けてください。皆さんは素敵な感性をもっていますので、自分自身で磨き続けることで自信を得ることができます。努力を惜みず、学び続けてほしいと思います。そのサポートはいつでもしますので、困ったらいつでも研究室にいらしてください。
保育実習指導 1	松田 純子, 大澤 朋子	本授業では、3年次の保育実習1a（保育園）と保育実習1b（児童福祉施設）の事前事後指導を行いました。 保育実習1a（保育園）は、みなさんにとって初めての实習で、緊張や不安も大きかったと思いますが、一人ひとりが真摯な態度で事前準備に取り組んだ結果、全員が無事に実習を終えることができました。いろいろと反省点もあったことでしょう。しかし、最初の実習を経験し、みなさんは確実に前進をしました。 保育実習1b（児童福祉施設）では、実習時期も実習施設の種別もさまざまですが、保育園実習とは違った不安があったと思います。しかし、仲間の実習経験にも学びながら、それぞれの場で実習をやり遂げ、共に振り返ってみると、仲間同士で成長を感じたのではないのでしょうか。 いよいよ最終年次の4年生です。自己課題を明確にし、十分な準備をして、自信をもって残された実習に臨みましょう。

[2019（後期）生活文化学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
		教育実習に行き前の学習であるので、実際の子供の姿から観察して学びを深めるよう15回を計画しました。観察実習が多かった分、忙しかったかもしれませんが、子ども一人一人をじっくり観察する姿勢を持って来年度、教育実習をがんばってほしいです。（渡辺先生より）
児童教育法	津田 ひろみ, 南雲 成二, 渡辺 敏	児童教育法「前期」は、第1学年から第6学年までの「学級担任力」「学年担任力」「教科担任力」「学校担任力」の育成とその基盤整備を実践的に進めます。後期を主に担っていただく渡辺先生がコメントしてくださるよう、幼小コースを専攻した皆さんが、初等教育の実践と取り組んだとき「先生（教師・教諭・教員）」としての主体的な力が発揮できるように、チーム学年・学校・教科推進力の基礎・基本の力が身につくように構成してきました。南雲先生なりの初等教育実践35年間のエッセンスを込めました。どうか、学習記録を大切に3年次の学習、特に「カリキュラム論a」「教育実習指導（事前・事中・事後）」「各教科教育法（道徳・特活・総合的な学習・小学校英語含）」と連動させて、学びを深めてほしいです。（南雲先生より）
ゼミナール	井口 眞美	本年度は、保育園に通い、音楽的な指導を行うという実践的な学びを中心として授業を展開しました。ゼミ生との連携も図りながら、みなさんとてもよく頑張っていたと思います。来年度は、卒業論文に向け、個人の研究テーマに即して学びを深めてください。
ゼミナール	塩川 宏郷	卒業研究の実施に向け、研究のやりかた、文献の集め方・まとめ方、プレゼンテーションの練習などを行いました。学生は課題にも積極的に取り組み自分の研究テーマを見出すことに熱心に取り組んでいました。研究計画書の作成までもう少しということまで到達できました。
ゼミナール	高橋 桂子	入力0人のためコメントなし
ゼミナール	田中 正浩	アンケート回答が少なく、分析、評価をするのは難しいが、授業内容及び方法のより一層の工夫が必要であり、4年次での卒論作成に各自が主体的に対応できるように授業の質を上げていきたいと考える。
ゼミナール	長崎 勤	ゼミ活動を生かし、卒業論文に活かしてください。アンケート結果を参考に次年度に生かしたいと思います
ゼミナール	細江 容子	回答者0につき回答はありません。
ゼミナール	松田 純子	3年次のゼミナールは、座学と共に、夏合宿や常磐祭企画、フィールドワークなど、行事的な取り組みもありました。大変なこともあったでしょうが、メンバーみんなの協力とチームワークで、とても有意義な経験にすることができたように思います。みなさん一人ひとりの力と貢献のおかげです。4年次は、それぞれが卒業論文に取り組めます。卒論は大学生活の集大成。みんなで支え合い、最高の論文に仕上げましょう！
ゼミナール	作田 由衣子	一人からしか回答が得られませんでした。今後の授業改善のためにももっと回答してもらえると嬉しいです。
子ども理解とカウンセリング	塚原 拓馬	回答者なしのためコメント割愛
国語	南雲 成二	毎回毎回かなりの量の印刷物（南雲先生手作り教材・学習材）にもめげず、南雲先生の時にワンウェイの講義にもめげず、毎時間毎時間のショート作文や課題作文にもマケズ、受講生の皆さんが真摯に取り組んでくれたことに感謝します。「納得のいくことばの教育、言語学習能力の伸長とそのための具体的支援と指導」は、なかなか難しいですね。母語国語教育・日本語教育・国語科教育の数々の課題に真剣に向き合ってくれてありがとうございます。2年生からは、より具体的な保育士や幼稚園・小学校教諭としての学びが深まります。どうかご自身の言語感覚の向上、語彙拡充、言語理解・言語表現への努力を発展させていって下さい。
保育・教職実践演習（幼稚園）	田中 正浩, 井口 眞美	本授業は、保育者になるにあたって求められる実践的な知識や技能を高めることを目的として授業を行ってきました。ゲストティーチャーや保育者として働く先輩の話、保育・教育現場での発表会等を通して、保育者としての専門性を身につけてもらえたら幸いです。
初等教科教育法（算数）	渡辺 敏	算数科の指導法の学習では、日野第五小学校の先生に実際に授業を見せていただきました。また、学生さん自身に指導案を作成してもらい、模擬授業を通して学んでもらいました。来年度、3年生での教育実習でぜひ、ここでの学びを生かしてください。
生涯発達心理学b	塚原 拓馬	満足度について概ね一定以上の評価を頂いている。今後も継続していきたい。

[2019（後期）生活文化学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
社会心理学 1	水野 いずみ	みなさんの回答をふまえ、よりよい授業にしていきたいと思います。
生活心理研究計画法	長崎 勤	アンケート結果を参考に次年度に生かしたいと思います
健康科学論 c. (現代医療の課題)	塩川 宏郷	履修者が少数だったため、個別指導のような形でかなり深い内容を共有できたと思います。
相談援助	大澤 朋子	4年間の総まとめの授業として、みなさん演習によく取り組まれていたと思います。
教育制度論	田中 正浩	平均を下回る評価の項目について、今後の反省点としたい。これまで以上に双方向の授業になるように努めていき、板書や配付資料においても受講生の目線で工夫をしていきたい。最終的には、受講生の授業内容への理解度がより高まり、関連教科の学習にも資することができるように改善していきたい。
初等教科教育法 (生活)	渡辺 敏	実際の指導を通して学ぶ機会取り入れたいと考えた15回でしたが、実習等で補修も多く、学びが深まらなかったのではないかと反省しています。生活科を子どもと一緒に楽しめる指導をぜひ、現場で考えてほしいです。
相談援助	大澤 朋子	4年間の総まとめの授業として、みなさん演習によく取り組まれていたと思います。
家族臨床心理学 2	稲森 絵美子	本授業では、実際の心理臨床の事例をもとに、人のこころを理解するとはどういうことか、また人が成長していく上で家族がどんな機能を果たしているのか、実体験として学んでもらうことを目的としていました。学生の皆さんが積極的に自分で考え、意見を述べてくれたことで、充実した学びになったのではないかと思います。次年度は、予習課題も適宜設定しながら授業を進めたいと思います。
基礎演習 1 (言語表現とコミュニケーション)	田中 正浩, 長崎 勤, 塩川 宏郷	論文やレポートの書き方、発表の仕方、討論の仕方などを学習しましたが、学生の取り組みは個人差が大きかったようです。授業態度を反省すべき学生が多くみられました。
生活デザイン入門	小野瀬 裕子	ペア学習による生活設計では、対話によりそれぞれの意見を尊重し、多面的に情報を収集して、建設的議論から生活課題の解決ができていました。これからは家庭や地域で、誠実な態度で積極的に生活課題の解決を図り、新たな生活文化を創っていただきたいと期待しております。
生活心理概論	塚原 拓馬, 作田 由衣子	回答者を増やすように努めたい
初等教科教育法 (体育)	島崎 あかね	教科書がなく他者から「できた、できない」が明確になってしまう「体育」という科目は、その指導者(教員)の得意不得意が影響してしまう可能性があります。運動が苦手であっても、生活や健康のために必要な運動を楽しく、より自然に子ども達が学ぶためにはどうしたらいいのかをテーマにしながら、実践力を付けていきましょう。
心理調査・検査法 2	水野 いずみ, 長崎 勤	アンケート結果を参考に次年度に生かしたいと思います
社会福祉	大澤 朋子	授業の進度、資料、アクティブラーニングの方法にまだ課題があったようです。今後の授業での改善を心がけます。
保育学演習	松田 純子	今回の授業アンケートでは、理解度については86.2%で全体平均77.3%を上回る結果となりました。また総合的な授業の満足度についても、4.69(5点満点)で全体平均4.19より高くなっています。授業担当者としては、この授業を通じて「自己の成長が実感できた」との回答ポイントが4.69で、全体平均4.11より高い結果だったことが、とても嬉しく思います。この結果から見ても、受講生の皆さんが大変関心を持って授業に参加してくれたことが分かります。 プレゼンテーションやディスカッションは大変有意義だったように感じますが、毎授業の欠席や遅刻が少々残念でした。演習科目ですから、その点が最終の成績評価に反映されています。
児童家庭福祉論	大澤 朋子	アクティブラーニングの方法に改善が必要なようです。今後の課題とします。

[2019（後期）生活文化学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
幼児教育法	井口 眞美, 長谷川 恭子	前半は音楽的な内容を中心とした授業を行いました。後半は、3年次の教育実習に向けて実践的な学びを中心とした授業を行いました。特に模擬保育では、みなさん工夫した取り組みが見られ、とてもよかったと思います。この授業での学びを来年度の「教育実習指導」につなげ、実践力を高めてください。
生涯発達心理学演習 b	塚原 拓馬	回答率を増やすように努めたい
ゼミナール	大澤 朋子	回答者が少ないのでコメントしづらいですが、卒論のテーマ発見につながるような合同学習を心がけます。
ゼミナール	水野 いずみ	回答者なし
生涯発達心理学演習 b	塚原 拓馬	回答率を増やすように努めたい
健康科学概論	塩川 宏郷	健康に関するトピックスや日本の保健医療システム、健康を守るしくみについて講義したが、学生の受講態度は温度差が大きいと感じました。試験結果をみるとそれが歴然としています。出席しているだけで授業を聴いていない・ノートをとらない学生が多く資料の閲覧も試験直前になってからという学生が多くみられました。公認心理士を目指す学生は医療に従事することの重大さを認識し強い使命感と緊張感をもって学習に臨んでもらいたいと思います。